

## 平成26年度 衛生管理講習会を開催

大淀労働基準監督署

9月25日、公益社団法人 奈良県労働基準協会大淀支部が主催する衛生管理講習会が大淀町文化会館で開催されました。

この衛生管理講習会は、第65回 全国衛生週間(10月1日~7日)に先駆けて、同週間を効果的にまた有意義なものにするために開催されたものです。

全国の業務上疾病の発生件数は、昭和45年の30,796件をピークに長期的には減少傾向を示し、平成25年は7,310件となりました。

そして、昨年、定期健康診断により何らかの所見が認められた労働者の割合(有所見率)は、全国平均で53%(奈良県は53.7%)と2人に1人は何らかの所見が認められました。

また、全国の自殺者は3万人を下回りましたが、そのうち約2,300人が仕事上の問題を原因や動機の一つとしていること、精神障害等による労災認定件数も400件を超えるなど、職場におけるメンタルヘルス対策への取組みは、依然として重要な課題となっています。

このような状況も踏まえ、奈良労働局では『労働災害のない職場づくりに向けた取組』を強化しており、当署もその取組の一環として、同講習会で健康診断結果に基づく保健指導や事後措置の重要性と改正労働安全衛生法の概要、そして労災保険制度について具体的な事例を示しながら説明を行いました。



みなさんの職場でも全国労働衛生週間を契機に、日頃の労働衛生活動の総点検をしていただき、職場の労働衛生水準の向上を図りましょう！

厚生労働省では、心の健康確保と自殺や過労死を予防するために、働く方やその家族の方、そして事業主・上司・同僚の方に向けた「こころの耳」というポータルサイトを立ち上げました。職場のメンタルヘルス対策にお役立てください。